



七ヶ宿くらし研究所主催

しちかしゆく自然体験

七ヶ宿ならではの自然や暮らしを体験する「しちかしゆく自然体験」が5月21日に、仙台市や名取市から6家族20名の参加のもと開催しました。

天候にも恵まれ、春山散策や田舎くらし体験、田植えを行い、元気に活動することができました。



春山散策では佐藤光夫さんを講師に、田んぼの周辺を散策し、水路にいる虫や山菜などの説明を興味深く聞いていました。水路を流れる水に触れたり、草花のおいしさをかいたりしながら、自然とふれ合っていました。

また、田んぼの上流にある山林で炭まき体験をし、米を育てる水や山の木々を守る活動をしました。

田舎くらし体験では薪ストーブで燃やす薪割りと、かまどでのご飯づくりを行いました。薪割りは家族毎で斧を使い薪割りをしました。ご飯づくりはかまどを使用し火加減を調整しながら炊飯をしました。

自分たちで作った源流米おにぎりや、地元の方が作ってくださった山菜汁と漬け物はとてもおいしく、おかわりする方がたくさんいました。



田植えでは、源流米ネットワークの方々を中心に、手植えのやり方や機械での植え方などを教わりました。初めて田植えをする人がほとんどで、大人も子どもも泥だらけになりながら、田植えを行いました。「田植って楽しい!」「稲刈りが楽しみ。」という感想も聞かれ、参加者同士の交流も図られ、充実した活動となりました。